

～ 令和 8 年(2026 年)は一揆勃発から 300 年 ～

第 6 回山中一揆歴史講座を開催します

日時▶ 令和 8 年 3 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～3 時

場所▶ 湯原ふれあいセンター（真庭市豊栄 1515 番地）

令和 8 年(2026 年)は山中一揆が勃発した享保 11 年(1726 年)から 300 年の節目の年です。

山中一揆義民顕彰会では、この歴史を風化させず次の世代に引き継ぐことを目的に、昨年 3 月から今年の夏にかけて多彩な講師による全 8 回の歴史講座を開催しています。これまで 5 回開催しておりますが、合計 681 人、平均 132 人と、そして市外の方が約 4 割と大変好評いただいております。

第 6 回は、元岡山県立博物館 副館長 横山 定さんを講師に迎え「山中一揆を伝えたもの ～記録と顕彰」と題した講座を開催します。横山先生には、これまでに第 1 回、第 3 回、第 4 回の計 3 回の講師を務めていただいております、今回が横山先生の講座としては最終回となります。

つきましては、ぜひとも周知にご協力いただきますとともに、当日も取材いただきますようお願いいたします。

歴史講座▶

- 1.日 時 令和 8 年 3 月 8 日（日）午後 1 時 30 分～3 時（受付 正午～）
- 2.場 所 湯原ふれあいセンター（真庭市豊栄 1515 番地）
- 3.講 師 元岡山県立博物館 副館長 横山 定さん
（現在就実大学及びノートルダム清心女子大学非常勤講師）
- 4.講座概要 山中一揆終結後、数多くの記録・物語、そして供養塔・顕彰碑などが作られました。これらを紹介しながら、山中一揆を伝えようとした人々の想いの一端を見ていきます。
- 5.そ の 他 横山先生の過去の講座については、真庭市立図書館の YouTube「まにわとしょかんチャンネル」に『音源』を公開しており、真庭市ホームページ「山中一揆歴史講座（全 8 回）」には『当日配布資料』を公開しています。受講できなかった回がある方や、もう一度聞いてから受講したい方など、ぜひご利用ください。
- 6.主催者等 主催：山中一揆義民顕彰会
共催：真庭市・真庭市教育委員会
助成：公益財団法人福武教育文化振興財団



写真：七郎兵衛の死を悼み、祠をつくり
祀っている剣のみさき（鉄山地内）

お問い合わせ先▶

山中一揆義民顕彰会（会長 浜子尊行）
TEL090-4653-0521

発信元▶

湯原振興局地域振興課（担当 升本）
TEL0867-62-2011 FAX0867-62-2097

■連続歴史講座の開催状況

| 回 | 開催日 | タイトル | 講師 | 受講者数 |
|------------------|-----------|----------------------------|-----------------------|------|
| 第1回 | 令和7年3月8日 | 山中一揆入門 | 元岡山県立博物館副館長 横山 定さん | 158人 |
| 第2回 | 令和7年5月10日 | 享保期の津山藩 | 津山郷土博物館学芸員 東 万里子さん | 132人 |
| 第3回 | 令和7年7月6日 | 山中一揆の経過(1) ～一揆前夜から強訴まで～ | 元岡山県立博物館副館長 横山 定さん | 137人 |
| 第4回 | 令和7年9月28日 | 山中一揆の経過(2) ～強訴後の様相と終焉～ | 元岡山県立博物館副館長 横山 定さん | 134人 |
| 第5回 | 令和7年11月8日 | 日なたの半六 | 山中一揆義民顕彰会会長 浜子 尊行 | 120人 |
| 第6回 | 令和8年3月8日 | 山中一揆を伝えたもの ～記録と顕彰～ | 元岡山県立博物館副館長 横山 定さん | |
| 第7回 | 令和8年5月23日 | 山中一揆残影 -- その後の社会と人々 | 蒜山郷土博物館館長 前原 茂雄さん | |
| 第8回 | 令和8年8月2日 | 山中一揆を表現すること | 映画監督 山崎 樹一郎さん | |
| 合計受講者数 (第1回～第8回) | | | | 681人 |
| 平均受講者数 (第1回～第8回) | | | | 136人 |

■講座の様子

第1回歴史講座（令和7年3月8日）



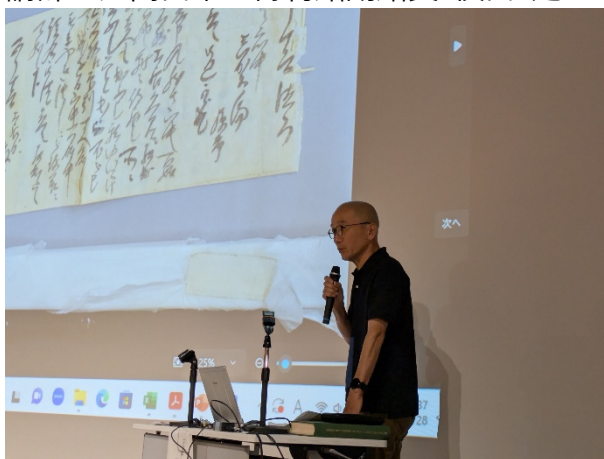
第3回歴史講座（令和7年7月6日）



第4回歴史講座（令和7年9月28日）



講師：元岡山県立博物館副館長 横山 定さん



山中一揆 300年

令和7年度

3月8日(日) 午後1時30分～ 第6回「山中一揆を伝えたもの」

～記録と顕彰～ (横山先生最終講座)

講師 横山 定氏 山中一揆研究者 真庭市(旧美甘村)出身

山中一揆終結後、多くの記録・物語、そして供養塔・顕彰碑などが作られました。これらを紹介しながら、山中一揆を伝えようとした人々の想いの一端を見ていきたい。



徳右衛門御崎(仲間)



首無し地蔵(釘貫小川)

【助成】



公益財団法人
福武教育文化振興財団

令和8年度

5月23日(土) 午後1時30分～ 第7回「一揆残影」

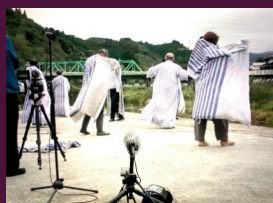
—その後の社会と人々—

講師 前原茂雄氏 蒜山郷土博物館 館長

山中一揆は、その後の地域社会にどのような影響を与えたのだろうか。じつは第二・第三の山中一揆も生じていた。一揆を繰り返す山中地域特有の事情とは何か。新資料も提示しつつ、農民生活や自然環境の実態に迫る。



田部義民供養祭
(蒜山西茅部)



劇団「山中一揆」(場面)
土居中河原地蔵地蔵村(米津)

8月2日(日) 午後1時30分～ 第8回「山中一揆を表現すること」

講師 山崎樹一郎氏 映画『新しき民』監督

山中一揆は古くから様々に表現され語られてきた。その語りからまた表現が生まれ、それを繰り返し、今に語り継がれている。この度、一表現者として考えてきたこととこれからの山中一揆について「祭り」と「演劇」をキーワードに考えてみたい。

全会場:湯原ふれあいセンター
岡山県真庭市豊栄1515

歴史講座

【参加費・無料】

一氣に解る！
いつきに・わかるさんちゅう・いつき

山中一揆



申込み(電話・ネットとも可)

真庭市湯原振興局

(0867)62-2011

詳しくは真庭市ホームページをご覧ください。



【主催】山中一揆義民顕彰会

【共催】真庭市・真庭市教育委員会